

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所（北地区）の原子炉施設〔HTTR（高温工学試験研究炉）〕の設置変更許可申請に係るヒアリング

2. 日時：令和5年8月10日（木）10時00分～10時42分

3. 場所：原子力規制庁10階打合せ卓（TV会議により実施）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

荒川安全管理調査官、加藤上席安全審査官、小舞管理官補佐、
伊藤主任安全審査官、中澤安全審査官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

大洗研究所 高温工学試験研究炉部 部長 他3名

建設部 施設技術課 マネージャ 他2名

高温ガス炉プロジェクト推進室HTTR-熱利用試験準備グループGL

安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 施設保安管理課

技術副主幹 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. 配布資料

資料1 HTTR（高温工学試験研究炉）の標準応答スペクトルに基づく基準地震動（Ss-6）に対するSクラス施設・設備の耐震安全性評価の結果について

資料2 HTTR（高温工学試験研究炉）の標準応答スペクトルの規制へ取り入れに伴う原子炉設置変更許可申請の補正について

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁の仲川ですそれでは本日のヒアリング開始いたしますよろしくお願いいたします。今日は、前回のヒアリングでこちらからお伝えしたことに対して、修正版の資料をいただいておりますので、
0:00:19	まず、前回からの変更点を中心にご説明お願いできますでしょうか。
0:00:28	IHであるイノイでございます。よろしくお願いいたします。
0:00:32	では前回からの修正点を中心に説明させていきたいと思っております。
0:00:37	桐生の方見ておりますでしょうか。
0:00:40	はい。見えておりますよろしくお願いいたします。
0:00:43	はい。それではご説明させていただきます。
0:00:46	前回何点かコメント資料修正についていただきましたのでその点についてご説明をさせていただきます。
0:00:53	1 ポツはじめにの部分でございますけれども、
0:00:57	3 パラ目ですね、基準地震動Ss6 の追加に伴う云々という文章がございますけれどもこちらについて、
0:01:06	設工認、施工設計及び工事の計画の認可申請書を基本にというふうに書いてましたけども、同じ計算方法ですよということで基本にという文字を移らせていただきました。
0:01:20	これが一つ目の修正でございます。
0:01:23	2 ポツからでございますけどこちらにつきましては基本的には図表の方ですね室を修正しておりますので、後で説明いただきたいと思っております。
0:01:35	続きまして、3 ポツに移らせていただきます。
0:01:38	3 ポツのほうにつきましては、この資料において主張してるところを
0:01:45	並べて書いてくださいということで5 点ほどちゃんと記載するようにということでございましたので記載をさせていただいたものでございます。
0:01:53	3 ポツの初めのパラグラフでございますけどこちらについてですが、失点番号ですね、8 と 9 と前回資料混同してるものでございましたけども今回は、
0:02:03	8 と 9 のうちFRSが大きい方の 9 番を選んで図のほうも修正させていただきます。
0:02:10	2 パラ目でございます。耐震安全性評価の概要として、文書につきましては基本的に全部地域が地域になってますので読ませていただきます。
0:02:19	元撮影の結果を図 4 に原子炉本体の結果を表 6 に確認の取り扱い施設、貯蔵施設の結果を表 7 に、
0:02:28	冷却系統の結果を表 8 に、溢水、関わる設備の結果を表 9、BDBAについては表中にそれぞれ示すということで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:37	その評価の結果から、以下の 5 点について確認したということでこの 5 点についてきちんと記載をさせていただいたものでございます。
0:02:44	①でございますけれども、今回確認したものでございますが、SS6 ないしSD6 について、
0:02:50	各建屋建屋の各フロアについてのFRSですねこちらを作成して確認しますというものでございます。
0:02:58	②番でございます。建屋を含む耐震Sクラス施設等の耐震性ということで、こちら
0:03:05	比嘉コマイさんからコメントございました制御棒の挿入性も考えてございますのでその点も括弧書きで書かせていただいております。
0:03:12	パルサーについてでございます。
0:03:15	耐震Sクラスへの波及的影響としてBクラスCクラス、等々ありますけれども、必要なものについて耐震化する影響を評価するというものでございます。
0:03:25	④が今度は水防 5 として、
0:03:29	基準地震動の地震が発生した時には壊れないというふうに設計をしているものについての接続に対する耐震性の説明。
0:03:37	⑤でございます。同様にbdba対策設備としてこちらについても基準地震動は壊れないというふうに説明してございますのでその点の、
0:03:46	結果を確認しましたという、以上 5 点を記載させていただきました。
0:03:51	これらの評価の結果、耐震裕度が比較的厳しい箇所としては、高温プレナムブロック、
0:03:58	明治ヘリウムしかいかん。等がございますということで裕度は小さい箇所がございますということに記載しております。
0:04:06	前回には力っていうのはありますかということでございますけれども結果見ていただければと通り、
0:04:12	2 割ではなくてかなり少ないものはございますので後程説明させていただきたいと思っております。
0:04:18	評価対象すべてについてですね、9 節工事同じ方法において評価を行いましたので、
0:04:25	設計としては成り立っているということで設計製造の確認さというところを書かせていただいております。
0:04:32	以上のことから今現在審査しており、申請させていただいております原子炉設置変更許可の申請ですね。
0:04:39	については、標準を通すということに基づく基準地震動の追加に対する工事や不要であって、設計方針の変更はないということを確認したということで、この 3 ポツに今回のヒアリングの主張したいことをすべて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:54	日本語で書いたというところがございます。こちらが大きな修正点でございます。
0:05:02	続きまして図表の方の修正をさせていただきます。
0:05:10	まず表 2、
0:05:13	ございますけれども、
0:05:16	前回は表 2 として波及的影響も付けてございましたけれども先ほどの 5 項目に切り分けたことによりまして今映っています波及的影響のところは表 3 に変更させていただきます。
0:05:29	結果的な表番号は全部ずれている形になります。
0:05:41	続きまして評価結果については厳しいものを記載してくださいということで前回の、
0:05:48	ヒアリングでコメントを受けておりますのでその点について書かせていただいているのが表 6 でございます。
0:05:54	本体施設関係でございますけれども、一番厳しい本体施設のところは、一番上ですね。
0:06:03	飯野B-7 という番号付けてございますけれども。
0:06:06	耐震Bクラスでございますけど一応Ssで評価SDで評価している。
0:06:11	いうものについての結果でございます。用地が 3.5 に対して発生値が 3.4 でございます。
0:06:20	ただ 1 回当たりというところがございます。教育は満足しています。
0:06:24	表 7 は修正は講座は今、次。
0:06:30	次続きまして表 8 でございます。
0:06:33	今日は地溝の冷却系統でございますけれどもこちらは原子炉压力容器の安全弁の配管に係るものでございます。
0:06:42	一応SsとSDと両方載せておりますけれども、Ssの方が影響で 137 に対して計算値 119。
0:06:50	定数Dの方が 902 に対して家が 101 で、
0:06:56	1%ぐらいしかないといったような形になってございます。
0:07:01	その下表を、
0:07:03	供給表中については変更してございます。
0:07:12	続きましてフロアレスポンスの方でございますが、前回説明を誤っておりましたように訂正をさせていただきたいと思っております。
0:07:20	基準地震動S6 につきましては基準地震動自体は、NSEW方向。
0:07:28	同じものなんでございますけれどもフロアレスポンスした場合建屋の形がもちろん違いますのでNSEW方向はそれぞれ違うは形になると。
0:07:37	というところで前回、若干勘違いをして進めさせていただきました。すいません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:42	ですけれども今回はこのNSEWUDとすべてのFレスポンスを表の図納付坪資料の方に書かせていただいたというものでございます。
0:07:54	この表示応答スペクトルって書いてる部分が、いわゆるS6というふうに考えていただければと思います。
0:08:06	IIにつきましてはこれは変更はございます。
0:08:11	それ以外に、
0:08:20	誤記等も修正をしたところでございますがまだちょっと誤記残ってます。すみません。減衰定数の上ですね、図3-1は、
0:08:30	訂正されましたけども、図3-2ないし3が、
0:08:34	まだちょっと、すみません、現行規模ですんでこれちょっと後で修正させていただきたいと思います。
0:08:40	修正点等につきましては、以上でございます。
0:08:46	はい。ご説明ありがとうございました。それでは規制庁カラーの質疑に入りたいと思います。
0:09:04	じゃあ、すみません。規制庁の駒井ですけど。
0:09:08	井上さんの文章追記等、わかりやすくしていただいております。
0:09:16	時代わかりやすくなったかなとは思ってます。
0:09:21	今回、厳しいところ、
0:09:26	もうつけていただいたことで、どこが厳しいのかってのもわかってきたので、こういったところもありがたいなとちょっと思いました。
0:09:40	許可の段階ではこの
0:09:43	SS6が追加されて特に設計方針に変更がないっていうところが確認できればいいので、
0:09:52	このまま進められるのかなと思ってるんですけども、ただちょっとすみません
0:09:57	メールでちょっとだけお話メールと対応でありましたけれども地盤物性のばらつきに関してはですね、ちょっと
0:10:08	誤解があるといけないので、
0:10:10	ちょっと簡単に、常陽の場の時の経緯だけ、ちょっと私の方から。
0:10:16	HTTRさんの方にちょっとご説明をさせ御説明というか経緯をお話しさせていただきたいと思うんですけども。
0:10:24	大丈夫でしょうか。
0:10:29	はいよろしくお願ひします。はい。はい、ありがとうございます。えっとですね、実は常陽の審査をちょっと私、丹市野チーム担当してるところがありまして、ちょっと経緯を簡単にご説明しますと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:43	東條様はですね地盤物性については、いわゆる何ていうんすかねノミナル値、今HTTRさんのやられている、いわゆるノミナルな状態。
0:10:53	ですと、城野処理秋田手当のがあるんですけどもその建屋はですね、基準値を満足してたんですよ。で、基準値満足してたんですけども。
0:11:04	地盤物性のばらつきを考えると、基準値を下回ってしまって、それで今改良工事をご理解れなきゃいけないという、そういうような設置許可にもなったんです。
0:11:15	その時ですね、当然地盤物性の剛性とか変わってくるんですけども、その結果としてですね、大体2割弱ぐらい。
0:11:27	厳しくなるということで、ノミナルだと、基準値を満足してるんだけど、ばらつきを入れると、2割弱ぐらい下がっちゃったんで、
0:11:38	改良工事が必要だと、ということがまずありました。
0:11:42	それですね、そのあとに、主、今度は地盤ではなくて施設側、いわゆる建物とか機器とかですね、そういったところの耐震評価もやっていて、今やっていたんだけど、見ていったんですけどもそこですね。
0:11:59	一応常用ワンマンの設置許可の段階だったので、基本的な設計の成立性ということで特にですね、上位は古いプラントっていうこともあって、
0:12:11	耐震補強がですね、そもそもできないようなところってのはあるわけなんです。そういったところで、特に耐震裕度が日間、先週20%って申し上げたのは、
0:12:23	そういうところからも来てるんですけども、そもそも耐震補強ができなくて、融度がノミナルで計算してですね、2割ぐらいのところは実はあったんです。そういったところで、地盤物性のばらつきを入れるとですね。
0:12:39	大体2割ぐらい変動するっていうのもわかってすでにわかってるので、それ地盤物性のばらつきは大丈夫ですかということ、城野には尋ねたんです。
0:12:49	その時に、常陽はどう答えたかっていうと、プラマイ10%拡幅のスペクトルをやってるんで、地盤の物性のばらつきはそん中に含まれてますと含まれてますと。
0:13:01	いうご説明は当初ありました。
0:13:03	それは規格基準にも書いてあるんで、それを根拠にということなんですけれども、実際にですね、プラマイ10%拡幅。
0:13:16	とですね地盤物性のばらつきのプラマイ1σをですね、評価してみて、
0:13:23	ちゃんと
0:13:25	拡幅したスペクトルがですねちゃんと含まれていると、いうことを示してくださいという話をしたんです。そして実際に剰余計算したらですね、やっぱり飛び出ちゃったんです。
0:13:35	そういったこともあってですね、誘導、そもそも耐震補強ができなくて厳しいところがあるということで、そこを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:46	詳細には見てみてみ。
0:13:48	許可の段階でもちゃんと見させていただいたってところが、一応ちょっと経緯としてはございます。
0:13:55	一応ちょっと簡単に経緯ご説明させていただきましたけれども、ちょっと何かご質問等あれば、どうぞ、お願いします。
0:14:08	原子力機構のイイガキです。
0:14:10	今説明されたところなんですけれども、確か常陽の審査会合では、高出力炉であるというのと後、地盤改良を行うということで、
0:14:24	今回ばらつきを考慮するというような発言をされたと思うんですけれども、この辺等はどどういうふうにといいことでこちらとしてはそこまで、
0:14:37	要求されてないのかなというふうに考えておりました。
0:14:43	ありました。
0:14:45	はい。ありがとうございます。確かにそういう発言をしましてですね、しました。高出力炉っていう意味で言いますと、いわゆるなんていうかね水試験研究炉。
0:14:59	野間グループカテゴリーんっていうとですね、高出力って確か 10 から 50 メガワットで、上場さらにそれを超えてると。
0:15:09	というようなところもあってやっぱり出力がでかいというのは確かにございます。
0:15:13	それともう一つですね、ちょっと
0:15:17	今日はその辺の誤解は取りとかなきゃいけないなと思ったのは、地盤改良が必要だからってところなんですけれどもあれ、随分言葉をはしょって、
0:15:27	話したんですけれども、その地盤改良が必要だからってというのは、今さっき経緯をちょっとご説明したいと思えますって言った先ほどの話なんです。
0:15:37	地盤改良がいるから、その地盤が軟弱だからという意味ではなくて、実際にこうばらついてしまうということが、
0:15:47	あるということ。
0:15:49	が言いたかったことなんです。はい。
0:15:55	伊勢イノイでございます説明の順序が若干、こっちの理解が間違っていたということで理解をいたしました。建設部さんの方もそれで問題ないでしょうか。
0:16:10	建設のは、問題ないです。
0:16:18	井谷イノイでございます。議会としては
0:16:22	了解いたしました。
0:16:26	はい。それでももちろんこれ、今回能勢SS6 の追加の許可の段階は、
0:16:36	別に評価結果をぎりぎり詰めるという、そもそもそういうステージじゃないので、次の設工認の時に詳細な前の第 4 回設置購入の時は、確か 3000 ページぐらいあった。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:49	改正評価書ありましたけれども、ああいったような人対応等が出てくるのS6に変えたものが出てくるのかなとは思ってますけれどもその中で、きちんと
0:17:01	整理してるんだってことは確認していきたいとは思ってます。
0:17:08	1 樽井の伊井でございます。ご理解の通り第四課熱交の、
0:17:14	SDS1 から 5 までの値がS6 だけになったもので申請させていただく予定です。ページ数としてはそんなに変わらないという予定になってる。
0:17:23	はい、ありがとうございます。
0:17:26	ちょっとここから若干蛇足的にな話になるんですけども、私第 4 回節項 2 を一応見させていただいて、
0:17:38	今日の資料にはないんですけども天井クレーンですね、波及的影響の観点で、要するに天井クレーン上から落ちてくると駄目だよねまずいよねってことで、
0:17:50	あるんですけども、これも結構ガーダーの部分とか、中央部にいると厳しいのかなってちょっと思ったりするんですけども、そう、そういうのも、SS6 だと大丈夫だっていうことなんですよ。
0:18:05	shallイノイでございます。ご理解の通りその部分は相当に厳しくなっております。評価の結果上は大丈夫だった結果を他ので申請させていただく、工事が審査していくという、
0:18:16	ことになってございます。
0:18:18	はい、ありがとうございます。ちょっと私これ素朴な疑問から素朴な疑問なんですけれども、第 4 回設工認のところそのガーダーが中央部にあったときは厳しいとそれ一般的にも厳しいのは、そ、当然なんですけど。
0:18:33	ただすいませんあれって中央部にきて、
0:18:39	運転するってことはないんですよ。HTTRさんっていう、そのクレーンが真ん中にいるときに、ちょうど運転するってことはないんですよ。
0:18:49	HDRイノイでござい。評価上は 150 トン近いものをつって、作業中ということでやっていますので、運転中にそのような作業は一切行われず。フロアで行われるとなっていますので、作業は行わないということになります。
0:19:04	そういうことですよはいはい。わかりました。
0:19:08	あとすいませんもう 1 個だけ技術的にちょっと新倉のことを聞いたんですけども、今日の資料の 11 ページ。
0:19:17	の表 8 についてちょっとご質問したいんですけども
0:19:22	すみませんこれも第 4 回設工認読んだんですけども、ちょっと私の理解が追いつかなくて、教えてくださいなんですけれども、ここって原子炉圧力容器安全弁配管t分ということで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:34	SsとSDで評価されてるんですがこれ
0:19:40	どういう構造になってるところなんですけえっとですね疑問点はですねと、これ温度が40度っていう設計温度になってて、これって原子、
0:19:52	配管、主、主配管って言ったらいいのかな冷却材の配管ってい。
0:19:57	ガス炉さんって400度とか900度とかじゃないですか。ここってどんな格好して、しかもここ座屈の評価だと思うんですけれども。
0:20:06	どういう会構造のイメージなんでしょうかちょっと解説いただくと、口頭で構わないんですけれど。
0:20:16	原子力機構のイガキですこちらはですね、書いてある通りなんですけども原資はツーループ容器の安全弁をついている配管で、
0:20:28	結構細い配管になります。それで配管が伸びているところから、T字に分かれて、二つは安全面がついてますのでそのちいの部分を評価しているというところにあります。
0:20:43	これは、そうする。
0:20:47	はあ。
0:20:50	で一方、いや、今おっしゃった要するに、冷却系の配管があつて配管から細い配管が出て、
0:21:01	そこにスティーブがあつて、チームの先に、いわゆる安全弁がついててその安全弁は、積極的に指示、指示は何かしてなくて、
0:21:12	そこは
0:21:15	何だろう。
0:21:16	そこは触れたり、地震によって触れたりすることによる、
0:21:20	技口を評価してるってそういう理解でいいんですかね。
0:21:25	大体イメージはその通りだと思いますけど一応配管自体はある程度サポートはとっているといった状況ですか。
0:21:36	当弁に対しては、サポートはしてないってイメージなんですかね。
0:21:42	そうね確か入ってなかったと思います殿に対しては。なのでここはそのままの座屈評価で、になってるってことですか。はあ。何となくあるわかりました。
0:21:54	だから細い管でずっと出るところだからここはほぼ常温状態になってるっていうことですね運転中も。
0:22:06	ピーターイノイでございます。安全で自体は部屋の中にありますんで人が行けるところにありますので、空調きいた部屋でございます。
0:22:13	ほぼ、
0:22:14	なるほど。わかりましたありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:57	で順番から他に、何か確認しておきたいという等ございますでしょうか。はい、ありがとうございます。上から参加させてほしい伊藤さん加藤さん何かございますでしょうか。
0:23:10	木戸加藤です。ちょっと1点だけ確認なんですけれど、前回ですね、5ページ目6ページ目にある耐震Bクラスに対しては、
0:23:23	何で今回の評価対象なのかっていうのを記載してくださいってコメントを残したというふうに考えているんですけど。
0:23:33	そのコメントに対しては1ページ目の2ポツのところ2の一番下のところに記載をしていて、特に、
0:23:43	5ページ目、6ページ目の表2の大東のところには記載していないという理解でよろしいんですかね。
0:23:50	HDRイノイでございます説明漏れておりましたご理解の通りでございます。すみません。
0:23:55	はい、わかりました。
0:24:05	規制庁イトウです私からは追加はございません。
0:24:11	はい、ありがとうございます。
0:25:05	あ、荒川です。
0:25:08	ちょっと何点か質問させてください。
0:25:12	資料の1ページ目ですね、1ポツの中に、代表例示しますというふうに管理ってあるんですけど、この代表例ってどういう考え方ですかね。
0:25:26	1人イノイでございます。代表については前回説明いただきましたけれども、
0:25:31	各設工認の項目ごとに1個ずつぐらい説明したらよろしいかなということで説明させていただきました。
0:25:38	ベースの前回のコメントで厳しいところを出してくださいってことでしたのでその厳しいところに変えて代表しましたといったものでございます。
0:25:46	考え方って書かなくていいんですかね。よくわからないんですけど。
0:25:55	市であるイノイでございます。
0:25:58	すべからく厳しいものを、書こうと思うと多分資料の枚数多くサポート多くなりますので、
0:26:06	代表例を示すぐらいでよろしいかなあとは考えております。
0:26:15	設計成立性を確認するっていうのが、許可の段階の話であって、ある程度その何ていうんですかね、全体をカバーできるような評価結果っていうのを見せて欲しいなと思っています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:32	前回おそらくヒアリングの中では、厳しいところ、裕度の厳しいところを見ておけばですね、大体包絡できるんだらうと、設計成立性が証明できるというかですね、見通しが立つんだらうということで、
0:26:46	発言があったと思うんですよ。
0:26:50	結局その、このままだと代表性でなんですか。
0:26:54	繰り返し聞かなきゃならなくて、
0:26:59	資料として完結してない気がするんですよ。
0:27:07	デジタルイノイでございますけれども。
0:27:11	どうでしょうかね。
0:27:21	飄々をふやすのではなくて何か文字でこういうふうを選んでますっていうふうに書けばよろしい。もちろんそれでいいと思いますよ、あの表で全部やったらそれ設工認と一緒に、
0:27:33	紙通りでございませうと思うんですよ。うん。はい。今井上さんが先ほどおっしゃったこととお話されたことを文字で書いてこういう考え方で、この資料については、
0:27:47	各各原子炉だとか冷却だとか、牛尾角田とか、
0:27:52	波及的影響だとか、水だとか、その中の厳しそうなのを代表的にしことを示しますというような形で、お言葉で書いていただければ。
0:28:04	いいのかなと思いますというのはこのですね、本資料では耐震安全性評価の結果の概要括弧代表例を示すっていう、
0:28:16	書いてあるところを、もう少し
0:28:20	言葉で書いていただけると、我々も自分たちの中でですね説明して、
0:28:28	理解する時に、非常によくわかるようになります、ということだと思います。
0:28:36	HDRイノイでございますが、ご助言ありがとうございます。では本資料では、代表例を示すっていう部分について、
0:28:44	公認の項も食うごとに厳しいものを、KBC者を基本的に選んで、代表例としてますというようなことを書かせていただきたいと思います。
0:28:58	そんな感じですよ。全然構わないですね、ある程度の考え方。
0:29:06	悪いだもん。
0:29:08	見通しがとれるような、代表例を示してくれてるっていうのがいいんですかね。比較的少ないところをピックアップしてね、やってみましたけれども、表の通りです。
0:29:22	それがわかれば、資料の中でね、わかれば、思います。
0:29:30	度はねえ。そう。
0:29:37	そう。
0:29:38	そう。
0:29:41	2 ページ目なんですけれども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:45	2 ページ目の(3)の③。
0:29:50	波及的影響の話ですけれども。
0:29:54	これって波及的影響は、
0:29:58	ないないですよ。ないよね。ないです。案内という、私理解したんですけれど、別途この後ろについてる中で、③に相当するものってないんですよ。
0:30:11	HTTRイノイでございます波及的影響の評価表は載せてないですね。はい。妥結結論は、だから
0:30:25	多分そう、その③に関わることもやってみた作業私例えば天井クレーンの話をちょっとサンプルとして出させていただいたんですけれども、これが例えば③の中の厳しいものの例示っていうことで言うと、
0:30:40	なるんだらうなってちょっと私はそんなイメージでいたんですけれど、すいません、それ理解合ってます。すいません。TPRさん、大丈夫ですか。私の理解はそうだったんですけど。
0:30:52	左の伊井でございますでしょう。32 かかるあの結果も一つ載せたいと思います。はい。ごさいません。これどういうこと。
0:31:02	③に対して何か火をつけるってこと。
0:31:06	なんかね、例を、この表 3 の可及的表 3 の波及的影響の中の代表、鶴巻層なのをもう 1 個、ずっと図の結果として、
0:31:19	1 個だけぽつとつけるっていう、
0:31:22	いうことですよ井上さんはそういう理解したんですけれど。
0:31:29	はい、乾でございます様と、その通りでございます。はい。
0:31:45	こういうことじゃないや。もし票つける人はないですね。じゃあ、丸さんに対してどうだったのかって、そんな。
0:32:00	そしたら、
0:32:02	すいません。井上さんの丸さんに対してはその結果の何か評価結果のズーとかじゃなくて、
0:32:13	上文章で、言葉で言っていたいただいても、書いていただいてもいいんじゃないかって話を今してたんですけれども、いかがでしょうか。
0:32:23	HDR猪野伊井でございます。
0:32:27	設工認ローリーの計算はやってるとは 1 発で書いてございますけども 3 ポツのところでは結果を書いてあるところに日本語でさあ移動①から⑤ですかね。
0:32:39	出てる結果を日本語ちょっと説明を入れたいと思います。はい、ありがとうございます。でいいかなと思いました。
0:32:47	あとですねすいません。これ、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:50	ちょっと役人的なちょっと言い方になるんですけど、①②③④⑤ってこれ多分名刺でと名刺っていうか、
0:33:01	名詞っぽく書いてると思うんですけども、①に関しては、FRSだけで終わるとです。ねこれ名詞が何かの意味がよくわからないんです。
0:33:12	FRSの作成とか何か書いといてもらうとありがたいんですけど。
0:33:19	できてるようでございます。申し訳ございません。作成との作成を追加したいと思います。
0:33:29	同じ2ページ目のところで、⑤が終わって次のパラグラフなんですけど、比較的厳しい箇所として高温プレナムブロックやっていうふうに書いてあるんですけど。
0:33:41	これ表のどこを見ればいいんですか。
0:33:50	A自体イノイでございます。
0:33:52	高温プレナムブロックというのが10ページ目の表6の一番上ですね、このプレナムブロックのうちのここは脇結合用ブロックでございますけども、失礼でございます。
0:34:04	次にヘリウム単価はその方がOKですんで、表8の方になるといったところでございます。
0:34:11	中根表とコース、名称は表、整合がとれてなくて多分これなんだろうなと思ったんですけど。
0:34:19	何か合わせられないのかなあ。
0:34:22	プロブロックキー結合用ブロック、
0:34:27	左イノイでございます。では評価表の名称に合わせて修正をさせていただきたいと思います。ですねそうするとなんか迷わなくていいと思いますので、
0:34:38	シャー。
0:34:41	何て言うのかな共通理解が取れると思いますので、あとね、同じじゃ、ちょうど10ページになったので、この表の関係でちょっと、
0:34:54	教えて欲しいんですけど、この計算値ってあって、方法1チームとあるんですけど、これはどういうことなんでしょうか。
0:35:02	それ、私からいいですかすみません。1点ですね、このホ12っていうのはいわゆる応答倍率法の方法の中で、ちょっと
0:35:14	やり方を少しだけ変えたもので、法律とか2とかかい。
0:35:19	作ったものなんです。ここはですね私も、資料の完結性という意味で言うと、関係性もともしょうがないんですけども、いや方法1人だとうわかんないんですよ。ここ12って言われてわかる人多分HTTR関係者しかいないんで。
0:35:36	例えばですけど、この下に米印をつけて、方法12とは第4回設工認とかで評価した戸張層の何とかの方法1、2を指すとかって書いといてもらうと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:49	わかるのかなと思うんですけど、いかがでしょうイノイさん。
0:35:55	デジタルでございます。その通りだと思いますので方法 12 についてつ表の下に米印をつけて解説を入れたいと思います。
0:36:05	はい。お願いします。はい。
0:36:09	うん。
0:36:15	そう。
0:36:42	すいません。僕が聞くのもなんなんですけど、本当に教えてください。
0:36:47	2 ページ目の 2 ページ目の、
0:36:58	だ。
0:36:59	それから、
0:37:01	④番、あれば、一切の観点なんですけど。
0:37:06	これ何でしたっけ。ちょっとすいません、基準持ってくればいいんですけども。
0:37:15	Ssに耐えられなかったら 1 制限にしろとかそんな話でしたっけ。そうそうそういう。そういうことですね。OK。
0:37:24	その前の許可の時に、溢水元元としてその時のSsでは、耐震性があるという評価はしたんだけど、その評価を変えたくないんで、今回S6 が追加されても、やっぱり水源としては相当持ちますということ。
0:37:43	言いたっていうようなことです。
0:37:47	へえ。
0:37:51	ていう、なんか本当に簡単に一言どっか書いといてもらおうと、わかりやすいかなっていう気もします。
0:38:01	今日、すいませんこれ。
0:38:04	もう本当に、
0:38:06	よく理解しなくて言うてしまうんですけども、このエッセンス 6 が追加された、されたことによっても、その 1 制限として見なきゃならない設備機器。
0:38:19	が追加されることはありませんか議論が結論なんですねはいはい。
0:38:25	そういうことを何か書いたことそれがちょっとわかりづらいですよ。何か表だけあるんですけど、そう想像できるんですけど。うん。許容値と、
0:38:38	こういう
0:38:39	江尻の伊井でございます。④の解説Ⅱも 3 ポツのところから入れたいと思います。
0:39:21	はい。荒川ですけど、私からは以上です。
0:39:33	へえ。
0:39:36	では規制庁狩野側からのコメントは、出尽くしたようですがTPRさん何か確認しておきたい点等ございますか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:47	1 樽井の伊井でございます。今コメントを受けた分についての資料を修正させていただきます。ただ、くれども。
0:39:53	もう一度ヒアリングを行ってから、8月下旬の審査会をなのかってちょっとスケジュール感を確認させていただければと思います。
0:40:04	そうですね。いらぬような気もするんだね。
0:40:09	修正版の資料を提出をいただいて、ヒアリングの運営については、その資料を見た、日程こちらの方で決めさせていただくという形になるかと思ひます。
0:40:24	越後乾でございます。承知いたしました。
0:40:29	それ以外GLからはございません。はい、ありがとうございます。
0:40:33	それでは本日のヒアリングは終了したいと思ひて審査会合ってどれくらいでなつてんだっけ。
0:40:41	29年8月29、14になつていた、して。
0:40:49	資料って言つてもらつても、
0:41:02	全然、
0:41:13	デジタルイノイでございますけれども審査会合用資料というのは前回も今回もつけておりますけれども、
0:41:20	台風2の方の資料で、
0:41:22	本日ヒアリングのような内容まで書いてないか京大予算に合わせた形の、
0:41:29	補正全体に書いた資料になつてございます。
0:41:43	これはね、
0:42:12	左イノイでございますけれども、今お話をされてますでしょうか。すいません。大丈夫ですよ。
0:42:20	です。そうですか。はい。
0:42:24	すいません。衛藤。
0:42:30	こちらから特にきすることは今回ないと思ひますので、資料を修正の上、提出いただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。
0:42:42	以上でございます承知いたしましたよろしくお願ひします。
0:42:46	はい。ではそれでは本日のヒアリングのコピペ終了いたします。ありがとうございます。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。